

作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埴田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



全校生3,527人一人ひとりが医療従事者の方々に感謝を込めたキャンドルアート（135周年オンライン作新祭りより）



祝・作新学院高等学校創立135周年

同窓会会長 安藤 寛樹(昭和45年卒)

作新学院同窓会の皆さん、新年おめでとうございます。昨年はコロナ禍で大変な年になりましたが、まだ収束の気配すら感じられません。お互い感染に注意し、日常生活を送りましょう。

作新学院高等学校は、明治18年下野英学校として船田兵吾先生により創設され、昨年創立135周年を迎えました。今日まで13万人を超える卒業生を輩出し、栃木県はもとより、日本・世界で活躍している事はこの上ない喜びであります。

創立130周年の時は、同窓会独自のお祝い会を開催しました。今回は残念ながら開催できませんでしたが、皆で学院の135周年をお祝いしましょう。

さて、昨年はコロナ禍により同窓会の各種事業が開催できず残念な年でありました。特に毎年1月に開催しておりました新成人祝賀会も、今年は残念ながら延期せざるを得ません。新成人の方々には申し訳なく思っていますが、コロナ禍の状況を見ながら何らかの対応をしたいと考えています。

今年是一年遅れのオリンピックです。同窓生では、水

泳競技でリオの金メダリストの萩野君、女子の清水さんが代表選手に有力視されています。車いすテニスの大谷さんは全仏オープン大会で準優勝に輝き、パラリンピック代表選手に選考されそうです。4年に一度の大会ですので、大いに期待をしたいと思っています。

またプロ野球界では、4年前に作新学院を54年ぶりに夏の甲子園での優勝に導いたスラッガー入江君が、横浜BSに投手として一位指名で入団しました。同期生の西武・今井選手との投手戦を楽しみにしたいと思いますが、皆それぞれに良い成績を残してもらいたいものです。

これまで同窓会では部活動を主に支援してきましたが、一昨年に“学業支援基金”を設立し、学業に対する支援も始めました。これからも母校作新学院の発展の為、しっかりと応援していきたいと思っています。

同窓会は“一校一家の精神”のもと、皆様方のご協力を頂きながら学院と力を合わせ、地域社会発展に寄与したいと思っています。結びに作新学院の益々の発展と、今年1年が皆様方にとって輝かしい年でありますよう、ご祈念申し上げます。



コロナ禍を乗り越えて

作新学院 院長 船田 元

令和2年が始まった途端に、中国武漢から発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は瞬く間に世界中に拡大し、日本国内もその例外ではありませんでした。欧米に比較してその患者数や死亡者数は低位に留められていますが、感染防止のためにあらゆる経済活動が停止状態となり、国民生活も極めて厳しい状況に追い込まれました。

私たちの学校教育の分野にも大きな影響があり、作新学院でも令和元年度の各設置校の卒業式と入学式は何とか挙行出来たものの、授業は3月から5月一杯は臨時休校を余儀なくされてしまいました。しかし「教育を止めるな」「生徒と学校をつなげよう」との考えのもとに、5月の連休前後からZOOMによる朝礼や双方向の授業、YouTube動画による自宅学習などに取り組み、最初は苦勞しましたし、教員側の負担も大変でしたが、次第に慣れてまいりました。

とはいえ1学期の授業時間が足りなくなったため、夏休みを返上して暑い中補講を実施し、何とか1学期を終えることが出来ました。しかし高校では部活動の集大成とも言えるインターハイや全国大会が中止となり、夏の甲子園もなくなって10回連続出場は果たせませんでした。代替大会なども一部実施されましたが、多くの3年生は高校最後の舞台がなくなり、達成感がなくなりましたが、1、2年生が先輩のために様々

なイベントを企画したことは、せめてもの救いでした。

そうした中、卒業生の活躍には眼を見張るものがありました。甲子園優勝チームの入江大生君は明治大学のエースで頑張り、DeNA横浜ベイスターズにドラフト1位指名されました。西武の今井投手や日本ハムの石井遊撃手との対決が楽しみです。全仏オープンテニスでは車椅子の部門で、大谷桃子選手が決勝で上地選手には負けましたが、大変な快挙でした。既に東京オリンピック出場を決めているスポーツクライミングの植崎智亜君や、スランプを脱した萩野公介君の活躍も楽しみです。

コロナ禍はなかなか去らないと思いますが、私たち作新学院は対面授業とオンライン授業を交互に行う「ハイブリッド教育」をこれからも実施するとともに、従来から取り組んできたアカデミアラボを中心とした「アクティブラーニング」をさらに進化させ、建学の精神である『作新民』の実現のために、一層の精進をして参ります。

作新学院高校同窓会の皆様には、同窓生の皆様方の絆をより一層強固なものにしていただき、また現役の生徒たちの活躍に対しましても、惜しみない拍手と激励を贈っていただきますよう、切にお願い申し上げます。

学院近景





学道の縁

作新学院 副院長 塩野谷 英彦

大学入試と言えども、時に時代の政治的状況に翻弄される場合があり、極めて不条理ではあるが、受容せねばならず、受験生にとってはなんとも腹立たしいものがある。半世紀も前になる安田講堂事件の影響と顛末である。今は新型コロナの感染拡大の影に怯える。ただ、現3年生には昨年同様の受験環境であることを願うばかりである。

本年3月から始まる臨時休業と緊急事態宣言。ほとんど学校は開かれず、学習権をどのように保障するかが緊急の課題であった。トップ英進部・英進部でも、オンライン授業を、手探りの中で開始。実験段階ではあったが、4月当初、学年別ホームルームを実施した時の、画面に映る生徒一人ひとりの顔が登場してきたときの感動は、心を熱くさせるほどの喜びであった。臨時休校の措置で、本来なら校舎のここかしこで生き生きと響いてきた反響音が消えて、廊下の隅々まで寒々とした寂しさに覆われていたが、オンラインで繋がることで、まさに生徒たちを取り戻した瞬間を経験した。確かに、画面越しでは、体温も息づかいも肌で感じるこのできないもどかしさを感じたことも事実である。アナログ人間の代表格であり、旧時代人の典型のような人間にとって、画面に映る生徒たちを客観的にみている自分が驚きであり、こうした時代の中でリアルとは何かを深く考えさせられた。

新型コロナは人とひとを遠ざける機能を有している。感染症は人間同士の接触を減らせば、感染の拡大を防げるからだ。フランスの作家カミュが、「ペスト」という作品を書いた。この小説が書店に行けば平積みになっているほど売れているという。ナチス占領下のフランスをペストという感染症で模して表現した傑作である。感染症の流行の中で、人とひとの繋がりが壊れていく心理は、不条理を追求したカミュにとって、人間の実存を探求すべき動機となり得たのである。最終的に、カミュは不条理の中での連帯と友愛を、人間の絆の尊さを描く。それは、同時期の実存主義哲学者であり作家でもあったサルトルがアンガージュマンと表現したものと通底する。コロナの前(BC)とコロナの後(AC)では、社会構造が変わると語る人た

ちがいる。確かに、1348年を中心に大流行したペストは、その後の社会を大きく変えた。ヨーロッパの人口を四分の三に減じただけでなく、自分以外信じられるものがなくなった。こうして人間の最小単位が発見される。individual、もはやこれ以上分けることのできない個人(個)の発見である。ルネサンスはここから始まる。

コロナの後には、どのような社会構造となるのだろうか。オンライン授業が日常化した今、IT社会は着実に我々の足下を支えるだけでなく、天空を覆い、AIによって構成されたデジタル世界を目の当たりにするのだろうか。でもたった一つだけ確かなことがある。デカルトのような明晰判明の事実ではなく、きわめて感情的な思いではあるが、生徒たちの声が消えた教室はとても寂しいということだ。生徒たちの真剣なまなざしと熱意が、授業を作り出していることだけは、どんな時代になっても不変であろう。

『正法眼蔵随聞記』の嘉禎二年臘月除夜の章に、「学道の縁」の行[クダリ]がある。仏道修行も学問研究も同じである。「花の色美なりと云えどもひとり開くるにあらず。春の時を得て光を見る。学道の縁もかくのごとし。人々皆道を得ることは衆縁による。人々自ら利なれども道を行ずる事は衆力を以てするが故に、今心を一つにして参究尋覓[サシユヅクシマク…たずね求めるの意]すべし」と。勉強は一人でするものではない。多くの人たちとの繋がりのなかで培っていくものであり、教師と生徒との、それは交流の電極のようにプラスからマイナスに瞬時にかわる接点であるように、教えるものと教えられるものとの位相が絶えず変化していく学校というトポスの普遍的なあり方として生み出されていくものなのである。いつの時代でも、学びの本質は変わらない。むしろ、新型コロナの時代であるが故に、学びの本質が際立ってくるのではないか。貴重な一瞬一瞬を大事に噛みしめて、学業に励んで欲しい。その努力によって学びが深くなり、人格までも陶冶されていくはずである。その「時」の堆積が同窓会と言う組織を強靱にすると信じている。

同窓生紹介

さまざまな分野で活躍する同窓生!



遥かなる戦争の 記憶をたどる

弁護士

藤田 勝春

(昭和35年卒)

私は、昭和35年に作新学院を卒業した。卒業生としては残り少なくなった戦前の生まれである。私は昭和17年に今はない満州国の山海関^{さんかいかん}で生まれた。当時父親が満州国の国境関係の検疫官をしていたため、万里の長城が澎湖湾^{ほうこわん}に接する国境の町で生まれたが、父の転勤で満州の奥地でソ連との国境である満州里^{まんちゅうり}という町にいた。そして、終戦の直前にソ連軍が侵攻してき、父親は捕虜として抑留され、母親と私と妹はソ連軍の捕虜となり各地の収容所を転々とした。食べるものもなく、妹は2歳になったばかりで栄養失調で死亡し、母は奉天の野原に小さな穴を掘り、妹を埋葬した。その後、母と私は収容所を転々とし、昭和21年に引き上げてきた。父親の実家である宇都宮にたどり着いた時、宇都宮は駅から伝馬町まで焼け野原であった。当時ソ連に抑留された日本兵は60万人、其のうち約6万人が厳しい冬を超えられず死亡した。私の父もシベリアで、32歳で死亡した。

私は作新学院を卒業後、中央大学法学部に進学し、苦勞の末に司法試験に合格し、宇都宮市で弁護士を開業した。作新学院の院長である船田元先生は、宇都宮高校在学中に学園祭で宇都宮空襲の資料展を開催し話題になった。宇都宮空襲は、昭和20年8月12日の深夜に宇都宮市が米軍のB29の空襲を受け、宇都宮市は焼け野原になり620名近い犠牲者がでた。私は戦争と平和を考えるために、「宇都宮平和祈念館を作る会」を有志と共に立ち上げ、毎年8月に宇都宮空襲展を開催し、30年が経過した。これも、船田元先生の資料展のおかげである。



作新学院と 3人の恩師

安藤勇寿「少年の日」美術館
代表・画家

安藤 勇寿

(昭和45年卒)

恩師と呼ばせていただいている先生が3人います。中学卒業後の進路に迷って、担任の永沢博先生に相談すると、「絵が好きなんだから絵を専門に学べる高校がいいな」と作新のデザイン科をすすめられました。絵が好きなんだからの一言はまさに的を射ていて、今日までの道のりの指針となりました。両親も応援してくれました。

遠距離で通学が無理なため作新の「茜寮」にお世話になることになり、ここから作新学院での3年間は始まりました。

絵の授業は面白く想像以上に刺激があり、毎日ワクワクでした。クロッキーやデッサン等の絵画の基礎はもちろんのこと、グラフィックデザイン、写真、彫刻、陶芸、製図など美術全般というのか、少しでも絵に関係する基礎を学びました。その基礎をさらに身に付けるための課題や宿題が多く、茜寮から帰省するのにも年に正月とお盆の1、2回だけという生活でした。それが一度も苦にならなかったのは、毎回夢中にさせる違った魅力があったからです。どの先生も個性的で熱心に教えてくれました。

特に先生本人が許した生徒が入部できる「灰野塾」を開いていた灰野文一郎先生と、デザイン科の主任と立体デザインの先生とを兼務していた越智一昌先生には、一つの物、一つのテーマをいろいろな角度から眺め、思考し、それらが持っている一番良い所を引き出す訓練、感じ取る力と想像する力を磨くことを教えられました。それに、生きていく上で大切な、人としての心のありようまでも同時に教えていただいた気がします。

私が画家として心棒にしている「遠くを見つめて自己の道、ひたすら歩む」の言葉も作新の3年間の生活の中から生まれ出たものです。この言葉は今、安藤勇寿「少年の日」美術館のロビーに展示しています。

作新学院が結び付けてくれた3人の恩師は、今も遠い空のかなたから両親とともに見守ってくれているのに違いありません。

作新学院ありがとう、そしてこれからもどうぞよろしく。

安藤 勇寿

(株) 安藤設計(一級建築士事務所)

<http://ando-sekkei.jp/>



代表取締役会長 安藤 英夫 (昭和43年卒)
代表取締役社長 安藤 寛樹 (昭和45年卒)
取締役総務部長 安藤 篤史 (平成 9年卒)
宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高 神 渡 (昭和45年卒)

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

作新学院高等学校同窓会

令和2年度 定時総会

文化厚生部 部長 古谷 祥一 (昭和58年・35回卒)

令和2年度作新学院高等学校同窓会定時総会は、令和2年6月19日新型コロナウイルス対策に万全を図りました。3密を避け出席者を抑え、座席の間隔を十分に空け、マスク着用し、窓を開け換気を行いながら、各役員・常任幹事・執行役員・各部の代表者31名で作新学院アカデミア・ラボに於いて開催致しました。

鈴木勲副会長(昭和38年卒)の開会宣言の後の校歌斉唱では、司会者の案内により「コロナ対策の為、起立し心の中での校歌斉唱」となりました。

安藤寛樹会長(昭和45年卒)の主催者あいさつでは、文武両道社会貢献を掲げる母校作新学院において、京都大学等レベルの高い大学への合格者が継続して生まれ、他の国公立大学・難関私立大学への進学実績も飛躍的に伸びている現状や、硬式野球部が9年連続して甲子園に出場し、ベスト8に輝いたのをはじめ各部活動の輝かしい実績に、OBとしての喜びを伝えました。4月5月に実施したオール作新による「医療従事者・子ども食堂等への支援活動」では、多くの同窓生から50万円を超える寄付金が寄せられた報告がされました。

来賓として出席された船田元学院長の祝辞では、3年前に完成した定時総会会場のアカデミア・ラボに於いて行われている生徒主体の授業(アクティブラーニング)や、学校のコロナ対策では臨時休校の中、三部長を先頭にした取組みにより早々に軌道に乗せたオンラインの授業、9月にオンライン開催により準備を進

めている「作新祭」等レベルの高い授業取組み、学校行事の推進について紹介されました。最後にオール作新で取組んだ「医療従事者・子ども食堂支援活動」への同窓会の素早い取組に対するお礼の言葉で祝辞を締めくくられました。

議事は、青年部の福田裕(平成元年卒)さん、石川嵩文(平成15年卒)さんを議長団に選出し審議に入りました。

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | ・平成31・令和元年度事業報告並びに決算について |
| | ・平成31・令和元年度基本特別会計報告について |
| 第2号議案 | ・令和2年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について |
| 第3号議案 | ・令和2年度3年度役員改選について |

第1号～第3号議案まで慎重審議の結果、原案通り承認され、新体制の同窓会役員の紹介とあいさつの後、同窓会役員として永年同窓会活動にご尽力されるとともに、母校作新学院の発展に寄与され今回退任される、三村松司様、福田勝江様、尾花一浩様に、安藤会長、船田学院長連名の感謝状が記念品とともに贈られました。コロナ関連の寄付金を学院に引継ぎ、小牧英夫副会長(昭和56年卒)の閉会のことばで、定時総会は恙なく終了しました。



(総合建設業)

中村土建株式会社

代表取締役社長 渡邊 幸雄 [平成4年卒]
宇都宮市大曾4-10-19 tel028-622-6581

仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

代表取締役社長 仲田陽介 [平成3年卒]

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151

作新学院高等学校同窓会

第46回 新年会・新成人祝賀会の開催について

事務局長 天野辰美 (昭和45年卒)

同窓会では、令和2年1月11日(土)「作新学院高等学校同窓会 第46回 新年会・新成人祝賀会」を、宇都宮市内のホテルニューイタヤに於いて開催いたしました。参加者は、278人の新成人とご来賓・教職員の皆さま・同窓生など350人となり盛大な祝賀会となりました。鈴木勲同窓会副会長の「開会の言葉」に続き、「作新学院歌」を全員で斉唱しました。安藤寛樹会長の主催者あいさつを吉高神副会長が代読し、新成人者の在校時を振り返り「文武両道・社会貢献の3本柱」の活躍を褒め称えました。次に新成人者代表 川端潤之介さん、早乙女乃愛さんに三村副会長・福田副会長から花束の贈呈が行なわれ、新成人を代表して早乙女乃愛さんから祝賀会開催のお礼の言葉が述べられました。

作新学院 船田元学院長の来賓祝辞では、135周年を迎える作新学院の現状の中の文武両道の実践、例として9年連続での甲子園出場、女子硬式野球部の全国優勝、2年連続での現役東京大学合格を挙げ、社会貢献では昨年の台風被害支援の実態を紹介し、一人では生きられない皆で助け合おうと呼びかけられました。最後に卒業生を思う親心から、5G通信への移行期を迎え情報量が増える中、情報に振り回されず情報の価値判断をしっかりと行うよう注意を喚起し、挨拶を締めく

くられました。

来賓で卒業生の佐藤明男衆議院議員からは、1964年の東京オリンピック重量挙げ金メダリスト三宅義信さんの「夢があるから成長できる」、吉羽茂県会議員からは「一校一家の精神のもと、仲間を大切にし、そして感謝すること」、福田克之さくら市議会議員からは「作新学院卒業生は、指導を受けた先生が学院におり、会えて聞いて学び指導を受けて先に進むことができる」とそれぞれ新成人に励ましの言葉を贈られました。

尾花一浩副会長の乾杯の音頭でスタートした新年会・新成人祝賀会後の懇親会では、青年部が進行役を引き受け特別なアトラクションがない中、新成人のころをつかむ進行で会場を一つにし、懇親会をおおいに盛り上げました。また、飛び入りのゲストとして「ミゾロギミツキを探して」という映画の主演女優で3月作新学院を卒業する河合瑠果さんが登壇し、映画の紹介や支援を呼びかけました。

平成30年卒業の新成人者と、進学や就職により、それぞれの目標に向かって成長する教え子たちの姿を見るためにご参加頂きました40人を超える担任の先生や教職員の皆さんを中心に輪が広がり、お互いの元気な姿を喜び合い、再会を誓い合い、盛況のうちに祝賀会はお開きとなっていきました。



(総合建設業)
株式会社 新生工業

代表取締役 櫻井 英治 (昭和57年卒)
宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502

総合建築資材商社

株式会社 白木屋

代表取締役 黒崎 裕康 (平成3年卒)
宇都宮市天神1-1-33 ☎028-633-3327
<http://www.shiroki-ya.jp/> FAX 028-633-0792

(株)本澤建築設計事務所

<http://www.honzawa-net.co.jp/>
代表取締役 本澤 崇 (平成2年卒)
専務取締役 本澤 淳 (平成5年卒)
宇都宮市川田町1223-27 ☎028-645-0607

(有)石川建築構造設計事務所

専務取締役 石川 嵩文 (平成15年卒)
宇都宮市下岡本2507-3 TEL028-673-6865
<https://www.ishikozo.co.jp/>

同窓会恒例視察・研修旅行

浅草周辺散策・大相撲初場所観戦の旅

文化厚生副部長 高梨 義久 (平成33年卒)

今回の文化厚生部主催の研修旅行は、「浅草周辺散策と大相撲初場所観戦」を企画しました。

江戸時代から繁華街として栄えてきた浅草地区。地方から遊びに行っても肩が凝らない安心感があり、下町の雰囲気を持つ東京の中でも特別なエリアです。日本人にも外国からの観光客にも、大人気の観光地となっています。特に628年創建の「浅草寺」は「浅草観音」の名称で親しまれ、年間約3000万人もの参詣者が訪れる都内最古の寺院です。浅草寺のシンボルは、何ととっても大提灯でおなじみ「風雷神門」、通称「雷門」。雷門から宝蔵門まで続く「仲見世通り」には、雷おこしや人形焼き、お土産店など90近いお店が立ち並ぶ、日本で最も古い商店街が約250メートル続きます。人ごみの中を「揚げ饅頭」「焼きたてのおせんべい」などを食べながら「常香炉」で線香の煙を体に浴び浅草寺へ向かいました。浅草寺のご利益は、心から強く願えば叶う“心願成就”。願ったものは何でも叶うというので、参加者それぞれに願い事をしました。

次に訪れた江戸東京博物館は、江戸時代から数百年、世界有数の都市であり続ける東京の魅力のもとを味わえる場所でした。博物館のそばにある両国駅には、「江戸の食文化を楽しむ」をコンセプトにした飲食施設「一両国一江戸NOREN」が3年前にオープンし、同施設中央には「土俵」が設置されており、雰囲気十分の中で「ちゃんこ鍋」を堪能しました。

両国国技館に入り、中入り後の熱戦を観戦しました。初場所は横綱2人の欠場にも関わらず、平幕の正代、徳勝龍をはじめ遠藤、豊山、炎鵬、北勝富士などが活躍し、大いに盛り上がりを見せましたが、千秋楽では結びの一番で大関貴景勝を破り、20年振りに幕尻の徳勝龍が優勝し相撲ファンに感動を与えた場所でもありました。

同窓会の視察研修旅行の二日後には、天皇皇后両陛下が愛子内親王殿下とご一緒に両国国技館を訪れ、大相撲初場所の取組みを観戦されたニュースが流れましたが、初場所以降コロナの感染拡大を受け、神事であり国技である大相撲の開催自体が大きく影響を受けることとなりました。今視察研修旅行を振り返り、コロナの早期終息を強く願うばかりです。



作新経済同友会の活動

作新経済同友会 須藤 宏明(平成7年卒)

作新経済同友会は、同窓会の役員を歴任した方々が中心となって、同窓会と連携を取りながら、異業種の会員による幅広い交流、会員相互の親睦と経済的な地位向上を目的として活動しております。活動内容は毎月一回の定例会と、季節ごとのイベントを実施しております。

定例会では講師を招聘。最近の外部講師の講話については、栃木県立博物館名誉学芸員の柏村祐司先生による「文武両道の武将 宇都宮氏」、宇都宮市の出前講座を活用した「LRT整備進行状況等」、「地域のハザードマッピング」、烏山信用金庫宇都宮南支店 鈴木隆夫支店長の「金融の仕組みと基礎」、竹楓園和喜庵に出向いての茶道の知識と作法、内部卓話として吉羽茂県議の「大規



模災害となった県内の台風被害状況と今後の県の災害支援、災害対策」、蕎麦打ち2段 落合功名人のお蕎麦を味わいながらの「そば談義」等知識の習得に努めております。作新経済同友会はこのよう

な活動を行っています。ご興味をお持ちいただけましたらぜひ事務局までご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしています。

メットライフ生命

宇都宮エージェンシーオフィス

古谷 祥一 (昭和58年卒) 若目田 有希央 (平成18年卒)
〒320-0026 宇都宮市馬場通り2-1-1NMF宇都宮ビル9F ☎028-651-2429

作新学院高等学校 P・T・A

会長 片柳 二郎

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

作新学院 親交会

会長 荒井 祥

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

株式会社コスモ鋼業

代表取締役 遠藤 盛 (昭和58年卒)

宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330
s-endo@cosmo-kogyo.co.jp

スポーツ界で活躍する同窓生



萩野 公介さん
平成25年卒業

3大会オリンピック
メダリストを目指す



大谷 桃子さん
平成26年卒業

全仏OP車いす
テニス準優勝

〈下野新聞社提供〉

宇賀神工業 株式会社
 代表取締役 宇賀神 真一 (昭和57年卒)
 宇賀神 勇人 (平成22年卒)
 鹿沼市千渡1605-88 ☎0289-64-4141
 ugajins1@ninus.ocn.ne.jp

小林建築設計事務所(一級建築士事務所)
 代表 小林 基 (昭和48年卒)
 宇都宮市宝木町2-944-13 ☎028-652-1770
 m-koba@moon.ucatv.ne.jp

北都電工株式会社
 代表取締役 会長 荒井 健次
 取締役 社長 荒井 博幸 (平成2年卒)
 宇都宮市上野町6076番地15 TEL 028-662-1542 FAX 028-663-4112

(有)川口写真館
 代表取締役 川口 修一 (昭和44年卒)
 宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

入江(高作) Dena 1位

五十幡(日大高) 日ハム 2位

仲三河(栃木出身) 西武 7位指名

プロ野球の新人選手選択会議(ドラフト会議)が26日、東京都内で開かれ、日光市出身で明治大の入江大生投手(22)がDeNAから単独で1位指名を受けた。また、

中央大の五十幡亮汰(18)が西武から7位、ルートインBが日本ハムから2位、大阪Cリーグ・栃木ゴールデンブレイブス(GB)の石田桐隆高の仲三河優太(外野手)が西武から7位指名を受けた。

1位指名を受けたDeNAの帽子をかぶり、笑顔を見せる入江=26日午後6時、東京・明治大硬式野球部合宿所、杉浦崇仁撮影

**1位指名で横浜DeNA
ベイスターズに入団する**

入江 大生さん

平成29年卒業

「オール作新」による「医療現場やフードバンク・子ども食堂などの福祉施設を応援するためへの支援金」活動について

令和元年11月に発生が確認された新型コロナウイルスは、令和2年1月16日に国内初の感染者が確認されたのち感染拡大の勢いが止まらず、また治療の決定打がなく、国は4月7日に緊急事態を宣言するに至りました。

このような状況のなか、逼迫する医療現場やフードバンク・子ども食堂などの福祉施設を応援するため、作新学院では、生徒・保護者・教職員・同窓会など学院関係者の持つすべての「作新力」を結集し、「オール作新」による支援活動を実施することと致しました。

同窓会では、同窓生の皆様にご協力を呼び掛けたところ、1か月という短期間にもかかわらず多くの皆様のご賛同を得て、519,500円という多額の支援金が集まりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

この支援金につきましては、6月19日「令和2年度 同窓会

定時総会」のおり、作新学院アカデミア・ラボにおいて船田元学院長に引継ぎを致しました。



(有)朋友塗装工業(建築・塗装・吹付工事)

代表取締役 **小野 朋之**(昭和61年卒)

宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082
FAX 028-639-7220

福宮建設株式会社(総合建設業)

専務取締役 **福田 裕**(平成4年卒)

宇都宮市鶴田町1462-1 TEL 028-648-7070(代)

関東自動車(株)

塩田 和也(昭和63年卒)
高梨 義久(平成3年卒)
小島 英将(平成13年卒)

宇都宮市築瀬4丁目25-5 ☎028-634-8131

1952年創業 あなたの街の「ぜいりし」さん

尾花税務会計事務所

税理士 尾花一浩(平成元年卒) 税理士 尾花兼司(平成2年卒)

〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2

ご相談専用ダイヤル ハロー オバナ
0120-806-087

今年成人を迎えられる卒業生



ご成人おめでとうございます。

新成人として成人の日をお迎えの皆様、おめでとうございます。また、今日までお子様のご成長を支えてきたご家族の皆様にご心よりお祝い申し上げます。

早いもので、皆様が心を同じくする仲間たちと研鑽に励んだあの日々から2年が経とうとしています。この間、コロナ禍などで皆様を囲む状況は決して平坦なものではなく、様々な困難や課題が山積していることでしょう。そんな中でも、皆様は地に足をつけて歩みを進めているものと信じております。今後も広い見識をもち、学習や社会生活に勤しみ、未来を切り拓いていってください。高校時代に培った宝をもつあなた方は、間違いなくその力が発揮できるはずです。社会に根付き、そして大きな実を育んでください。

二十歳という節目ですが、皆様の人生はまだまだこれからです。これからの人生での一つひとつの出会いを大切に、また常に感謝の気持ちを忘れずに、毎日を充実させて過ごしていってください。皆様の成長・活躍をずっと応援しています。

最後になりましたが、皆様の前途に幸多きことをご祈念申し上げます。

平成30年度 トップ英進部・英進部 第3学年主任 伊藤 繁・秋場 秀彦



平成30年度卒業時の第3学年担任の先生方

電気工事・通信工事・設計施工

中央電機通信株式会社

代表取締役 設楽厚夫 (昭和47年卒)

宇都宮市中戸祭1丁目9番12号 TEL 028-622-9331

Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

取締役会長 伴 清 (昭和35年卒)

代表取締役 伴 誠 (昭和62年卒)

生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)

宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525



産業廃棄物処理 家屋解体工事のことなら

株式会社 ウスイ産業

代表取締役 白井伸太郎 (平成5年卒)

栃木県宇都宮市北若松原2-11-7 TEL 0285-56-8720



HOTEL NEW ITAYA

<http://www.newitaya.com/>

福田 吉信 (平成6年卒) 高橋由起子 (平成19年卒)

白石 希 (平成20年卒) 山崎 滉平 (平成31年卒)

宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511

今年成人を迎えられる卒業生



ご成人おめでとうございます。

新成人の皆さま、成人おめでとうございます。そして、皆様を今日まで愛情を込めて育ててこられましたご両親をはじめご家族の皆様には敬意を表するとともに、お喜びを申し上げます。

新型コロナウイルスの爆発的な流行は、感染の恐怖、罹患後の不安で私たちの幸せな日常を奪い、混乱を招いています。しかし、人間には過去に未曾有の試練を幾度となく生き延び、乗り越えてきた逞しさがありません。明るい未来が来ることを信じ、その日が迎えられるまでともに頑張りましょう。

経済が成長し、産業の発展、医療の充実が図られ人々の生活が豊かになるためには、改めて「助け合い、支えあい」の姿を体現し社会的役割を果たしていく皆さんの力が必要です。世界一安心できる日本を作る気概を持ってほしいと思います。この日本に生まれたことを幸せに思い、両親や、周りの人に感謝する気持ちを忘れずに生きてください。

20歳という人生の節目を祝し、大いなる飛躍を期待しています。

平成30年度 総合進学部 第3学年主任 吉田 渉



平成30年度卒業時の第3学年担任の先生方

(有)坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 坂本 昭(昭和31年卒)

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003
FAX 028-632-9148

(株)山登塗装工業(建築・塗装・吹付工事)

取締役会長 酒井康雄(昭和43年卒)

代表取締役 酒井宏泰(平成8年卒)

宇都宮市砥上町247-4 TEL 028-648-3116

太平産業開発(株)(太陽光発電事業)

代表取締役 熊倉正敏(昭和35年卒)

宇都宮市上小倉町2616-1 ☎028-624-2156



割烹弁当の老舗

株式会社 **新三(しんざ)**

代表取締役 鈴木郁夫(昭和24年卒)
宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

今年成人を迎えられる卒業生



ご成人おめでとうございます。

晴れて新成人となりました卒業生の皆さま、並びにご家族の皆さま、誠におめでとうございます。教職員一同、心よりお祝いを申し上げます。

2018年3月1日、卒業生の皆さまが誇らしげな姿で本学院を巣立っていった卒業式が昨日のことのように懐かしく思い出されます。また、その年は大阪なおみ選手が日本人初の四大大会優勝の偉業を成し遂げた年でもあります。逆境の中、冷静に自分のプレイを貫いた彼女は、諸君たちと同じ20歳でした。

現在、世の中は新型コロナウイルスによって、誰も経験したことがない状況となっています。新しい日常に不自由を感じることも数多くあります。しかし、大阪選手のように冷静に逆境と真正面から立ち向かい、希望をもって未来を切り拓いていって欲しいと思います。これから諸君たちが築く未来に、幸多からんことを願っております。

平成30年度 情報科学部 第3学年副主任 岡部 明



平成30年度卒業時の第3学年担任の先生方

関東ツアーサービス株式会社

外山文昭 (平成11年卒)

宇都宮市築瀬4丁目25-5 ☎028-614-4377



(総合建設業)

末長建設株式会社

代表取締役 末長修一 (昭和57年卒)

宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675



株式会社

企画装飾

代表取締役会長 関正三 (昭和24年卒)

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32
TEL 028-662-6551代 FAX 028-663-3579**日建工業株式会社**

代表取締役 吉川泰行 (平成2年卒)

宇都宮市岩曾町179-4 ☎028-625-5021

FAX 028-625-7523

E-mail : yasuyuki@nikken-kogyo.jp

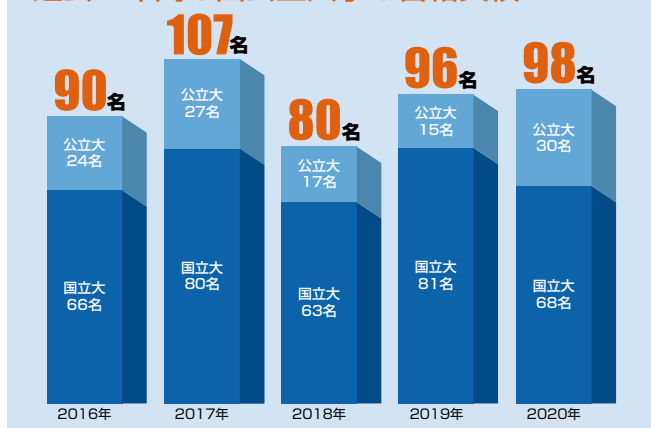
昨年度の進路状況

京都大学1名 一橋大学1名 現役合格

～東北5・筑波2・横浜国立1・千葉2など国公立大学に98名
 慶應・早稲田・上智・東京理科・MARCHレベル以上の難関私大に48名が合格!!～
 埼玉大7名・新潟大7名・宇都宮大に17名合格 医学部医学科に8名が合格

令和元年度の卒業生1,211人の進路の内訳は、4年制大学に515人、短期大学に48人、専門学校(予備校を含む)に392人が進学し、就職・その他は256人であった。進路の割合は、大学や専門学校への進学は78.9%、就職・その他は21.1%であった。

過去5年間の国公立大学の合格実績



令和元年度入試の国公立大学合格者は、98人(国立大学68人<うち現役58人>、公立大学30人<うち現役27人>)であった。主な合格大学としては、京都大学1名・東北大5・東京藝術大1・筑波大2・横浜国立大1・千葉大2・東京医科歯科大1・東京学芸大1・東京農工大1・埼玉大7・新潟大7・信州大1・茨城大2・群馬大1・山形大5・東京都立大1・横浜市立大1・高崎経済大3・都留文科大1などが挙げられる。このうち、東北大学は、理学部2人、工学部1人がいずれも現役合格を果たした。地元の宇都宮大には、共同教育学部1人・地域デザイン科学部2人・工学部5人・農学部8人の計16人が現役合格を果たした。

一方、私立大学における主な合格大学としては、慶応大3・早稲田大4・上智大2・東京理科大10・立教大1・明治大7・青山学院大4・中央大9・法政大8・学習院大4・同志社大7・立命館大6・関西学院大2・関西大3・芝浦工業大9・明治学院大3・日本大27・東洋大12・駒澤大20・専修大27・順天堂大(医)1・東京医科大(医)1・近畿大(医)1・東海大(医)1・獨協医科大2・帝京大(医)1・岩手医科大(医)1・麻布(獣医)1・東京薬科大(薬)2などが挙げられる。

専門学校への進学は、「地元志向」が強いが県内への進学率は55%にとどまり、通学圏内の東京30%、埼玉12%の順になっている。外国語など語学分野や動物・

ペット関係、ブライダル、ゲームクリエイター等について学びたい生徒が、県外の専門学校を選んでいる。また、医療系(看護・歯科衛生、技工・理学療法・放射線など)への進学者が多く、専門的に学ぶことで、将来活かせる資格を取得することを目標に堅実な進路選択をしている。次いで保育、公務員コース、建築設計、美容、調理系などに進学した。未来を見据えた進路選択をし、合格を果たしている。専門学校は多岐の分野があり、本人の希望だけでなく適性を踏まえて指導することが求められる。

就職に関しては、今年度の求人企業数は昨年よりやや微減となる約1,500社であった。傾向としては、人手不足が深刻化する建設業・運輸業・製造業での求人が多く見られた。この3業種の最前線で活躍できる人材を期待して、高校生の「売り手市場」が続いていると考えられる。また、医療・福祉・自動車整備分野における深刻な人手不足もまだまだ続いている状況となっている。昨今、就職戦線では「コミュニケーション能力」「仕事に対する意欲」「十分な基礎学力」「面接での表現力」が求められる傾向にある。学院では学年ごとにキャリアガイダンス、インターンシップによる就業体験、人事担当者および関係機関(ハローワーク、労政事務所など)による「企業が求める人材、求められる人材」などの就職講話、外部講師による「ビジネスマナー」、卒業生による体験談など、多くのキャリア教育を実施している。これらの取り組みが功を奏し、早い時期に昨年の内定率を上まわり、12月末には内定率100%を達成することができた。

令和元年度卒業生 進路

| 部 | 進路 | | 卒業者 | 4年制大学 | 延べ合格者 | 短期大学 | 専門学校(予備校を含む) | 就職その他 |
|------------------------|----|---|------|-------|-------|------|--------------|-------|
| | 男 | 女 | | | | | | |
| トッ プ 英 進 部 | 男 | | 135 | 105 | 234 | 0 | 28 | 2 |
| | 女 | | 103 | 83 | 196 | 3 | 15 | 2 |
| | 総数 | | 238 | 188 | 430 | 3 | 43 | 4 |
| 総 進 学 部 | 男 | | 244 | 150 | 176 | 1 | 73 | 20 |
| | 女 | | 219 | 113 | 138 | 26 | 66 | 14 |
| | 総数 | | 463 | 263 | 314 | 27 | 139 | 34 |
| 情 報 科 学 部 | 男 | | 288 | 40 | 40 | 0 | 117 | 131 |
| | 女 | | 222 | 24 | 24 | 18 | 93 | 87 |
| | 総数 | | 510 | 64 | 64 | 18 | 210 | 218 |
| 総 計 | 男 | | 667 | 295 | 450 | 1 | 218 | 153 |
| | 女 | | 544 | 220 | 358 | 47 | 174 | 103 |
| | 総数 | | 1211 | 515 | 808 | 48 | 392 | 256 |

運動部 spots

ゲートボール部

《2019年度の成績》コロナ過で今年の全国大会は全て中止であったため、昨年度の大会成績となります。

ゲートボール部

○文部科学大臣杯

第35回全日本ゲートボール選手権 大会(滋賀県長浜市)
優勝(2連覇)

○第74回国民体育大会ゲートボール競技会(茨城県行方市)

女子 優勝

○第24回全国ジュニアゲートボール大会(埼玉県熊谷市)

女子1部クラス 優勝(2連覇)

男子1部クラス 第3位

文部科学大臣杯「第35回全日本ゲートボール選手権大会」が、2019年9月28日(土)・29日(日)、滋賀県長浜市長浜バイオ大学ドーム(人工芝)で開催されました。チーム編成に年齢・性別の制限がないことから「実力日本一決定戦」といわれる本大会は、前年度初優勝を果たした作新学院チームと、都道府県予選会(合計1,229チームが参加)を勝ち抜いた計48チームが出場し、日本一の栄冠を競いました。

決勝戦は前回大会と同じ組み合わせとなりましたが、序盤の攻防戦を制して16対7と快勝。見事、V2を達成しました。

「第74回国民体育大会ゲートボール競技会」は、2019年8月31日(土)・9月1日(日)、茨城県行方市北浦運動場北浦第1グラウンド(天然芝)で開催され、全国を10の地域に分けてその予選会を勝ち抜いた男女別各16チームが出場し、高レベルの熱戦を繰り広げました。

栃木県女子代表として初出場というプレッシャーからか、先手を許し追いかける試合展開が続きましたが、精

神的に負けないう『自信を持って!』や『ゆっくり』など、いつもチームで心掛けている言葉を掛け合い、明るい雰囲気プレーした結果、見事、初優勝の栄冠に輝きました。

「全国ジュニアゲートボール大会」は、年齢と性別から3クラスに分けて各ジュニアチャンピオンを決定する大会で、3クラス合計78チーム554名のジュニアプレーヤーが出場し、汗と涙が光る熱戦を繰り広げました。

結果は、女子1部クラスで2連覇を達成し、通算8回目の優勝に輝きました。また、男子1部クラスでは、第3位入賞を果たしました。

昨年部長を務めていた正村陽(R1卒)は、幼少期から続けてきたゲートボール競技を極める為に作新学院に入学し、日々技術を磨いてきました。その結果、全国ジュニア大会2連覇、全日本選手権2連覇、国体女子初優勝という快挙を達成。新しい風がチームを盛り立て、ゲートボール部は名実ともにトップチームの仲間入りを果たしました。また、全日本選手権で主将を務めた片柳尚記(H27卒)は、『ゲートボール競技を通じて、礼儀やマナー、協調性、他人への気遣いの大切さを学びました。幅広い年齢層の方と交流でき、共に競技を楽しむ仲間に出会えたことが何よりの財産です。』と、ゲートボール競技への謝意を示すと共に、11月に中国で開催されるアジア大会への意気込みを感じ取れました。

これからもゲートボール競技の発展に尽力し、勇往邁進していきたいと思います。今後とも、ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

(ゲートボール部顧問 岩田良文)



(総合建設業)

芳賀屋建設株式会社
 代表取締役 関 明彦 (昭和61年卒)
 宇都宮市築瀬 4-12-28 TEL 028-638-2000

NETIS登録
 KT-100005 防草緑化挿し芽植栽工法
株式会社 落合東光園
 代表取締役 落合 功 (昭和37年卒)
 事務所/河内郡上三川町中子921 ☎0285-56-3751

藤田勝春法律事務所
 弁護士 藤田 勝春 (昭和35年卒)
 宇都宮市清住 3-1-14 ☎028-625-3266

金田商会
 代表取締役 金田 眞麒 (昭和35年卒)
 宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

文化部 culture

英語ディベート大会で全国優勝!!

トップ英進部 1年代表

8月8日(土)・9日(日)の両日に開催された「PDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2020」(主催:一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)、後援:文部科学省)の「授業の部」において、参加したトップ英進部1年生の3チームが、見事に全国優勝・準優勝・3位入賞の上位独占を果たしました。

36校から64チーム、総勢281人が3部門に参加した今年の第7回大会は、新型コロナウイルスの影響から、初のオンライン開催となりました。試合は、論題の発表後に設定される15分の準備時間(Preparation Time)を経て、肯定側チーム(Government)と否定側チーム(Opposition)に分かれ、それぞれの立場を主張する理由を述べ合っていきます。相手チームのスピーチ中でも、15秒以内の質疑応答(POI、Point of Information)を行うことも認められています。

参加した作新チーム10名は、学内のアカデミア・ラボから意見を発信。1年生ながら冷静・沈着な判断力に加え、的確な表現力と熱意をもって、着実に勝利を重ねていきました。準決勝・決勝とも作新チーム同士が対決する場面があり、他校からも大いに注目を集めました。

表現力豊かに個性を活かしたスピーチを重ねていく作新Bチーム(荒生夏央美さん・井手上咲良さん・島崎華乃さん)と、豊富な知識を背景に論理的な意見を展開する作

新Aチーム(小杉あかりさん・近久由真さん・松原和葉さん)との間で繰り広げられた決勝戦は、息を呑む熱戦となりましたが、作新Bチームが僅差で優勝を勝ち取りました。3位入賞の作新Cチーム(齋藤理子さん・櫻庭望さん・館野佳菜子さん・宮下歩佳さん)は団結力抜群の4人。試合を重ねるごとに要領をつかみ、相手チームへの質問なども積極的に行うことによって、自分たちの意見が優れていることをアピールできるほどに成長しました。

個人でも、荒生夏央美さんと近久由真さんがベストディベーター賞を、荒生夏央美さんがベストPOI賞を獲得。全国レベルで活躍する他校生との交流を通して、大いに成長し、自信を胸にすることができた体験となりました。メンバーはまだ全員1年生でもあり今後の活躍が楽しみです。

[出題された論題]

- 予選1 「日本は、もっと難民を受け入れるべきである。
(Japan should accept more foreign refugees.)」
- 予選2 「日本は、安楽死を合法化するべきである。
(Japan should legalize euthanasia.)」
- 予選3 「ペット税を導入すべきである。
(A pet tax should be introduced)」
- 準決勝 「コロナ禍では、民主主義より権威主義のほうがよい。
(Authoritarianism is better than democracy during the COVID-19 pandemic.)」
- 決勝 「誹謗中傷で自殺に追い込んだ場合、終身刑を課すべきである。
(A life imprisonment should be imposed on a person who led others to commit suicide with slander.)」



優勝を遂げた作新Bチーム



準優勝に輝いた作新Aチーム



3位入賞を果たした作新Cチーム

金箱工設株式会社(総合設備業)

代表取締役 金箱 忠司(昭和46年卒)
宇都宮市雀宮町118-4 ☎028-653-6603
info@kanebako.co.jp
うつのみやCSRまちづくり貢献企業



MARUWA GLASS 有限会社 マルワガラス

代表取締役 薄井 和英(昭和55年卒)

宇都宮市御幸ヶ原町155-2 TEL(028)613-2025 FAX(028)663-8411

総合建設業
傘株式会社 鱒淵建設

代表取締役 鱒淵 孝男
取締役 鱒淵 智行(平成11年卒)
建築部 小牧 英夫(昭和56年卒)
宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261

同窓会新役員紹介

人事選考委員会、常任幹事会を経て令和2年6月の「定時総会」に於いて役員改選が行われました。新たに役員になられた方は、次のとおりです。



副会長
櫻井 英治
(昭和57年卒)

組織財政部長と共に、それぞれの業種・分野で活動する卒業生の交流や、部活動をご指導されている先生方とOB・OGとのなご一層の連携強化を図っていきたくと思っています。



副会長
渡邊 幸雄
(平成4年卒)

広報担当副会長として、会報誌やホームページでの情報発信を活かし、同窓生の皆様に同窓会活動がより身近になるよう努めてまいります。



監事
遠藤 盛
(昭和58年卒)

推薦され選出されたその責任を重く受け止め、監査の観点からしっかりと同窓会運営に、寄与していきたくと考えております。



総務企画部長
安藤 篤史 (平成10年卒)

この度、令和2年度定時総会において青年部長を退任して、総務企画部長を仰せつかりました平成10年卒業の安藤篤史です。総務企画部は、毎年6月に行われる総会や、大好評である成人を迎える卒業生を対象に、「新成人祝賀会」を大々的に行ってきました。コロナ禍で今年は総会については最小人数で行い、新成人祝賀会に於いては新成人同士の語らいや先生への近況報告など、懇親会の場を設けたいとの思いから、延期の判断をさせて頂きました。今後も同窓会の交流を広げ、同窓会活動を盛り上げていく所存です。引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



広報部長
黒崎 裕康 (平成3年卒)

広報部では年度における学校の様々な行事、同窓生・OBの各分野における幅広い活躍の紹介を趣旨とした会報を年に1度発行しております。また、併せてホームページにおいても同窓会の組織紹介をしております。親睦ゴルフ大会も実施しており毎年多数の参加者で懇親を深めています。同窓会活性化のためにも皆様のご意見をお知らせ頂ければ幸いです。



文化厚生部長
古谷 祥一 (昭和58年卒)

文化厚生部は、「同窓生相互の親睦を深める」ことを目的とし、年1回の視察研修旅行を企画実施しております。また秋には、「作新祭」に参加をし教職員ならびに在校生の皆様と親睦を図り、より身近なものにしていきたくと思っております。



組織財政部長
本澤 崇 (平成2年卒)

この度、令和2年度定時総会において組織財政部長を仰せつかりました、平成2年卒業の本澤崇です。高校時代は柔道部に所属しておりました。さて組織財政部は異業種交流会や部活動OB・OG会を通じて13万人を超える同窓生の交流の窓口となる活動を行ってきました。コロナ禍で今年は開催できませんでしたが、今後も卒業生の交流を広げ、同窓会活動を盛り上げていく所存です。引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



青年部長
石川 嵩文 (平成15年卒)

この度、新しく青年部部長に就任しました平成14年度卒の石川嵩文です。青年部では、年1度のパーベキュー大会を開催しており毎年多くのご参加をいただいております。今後も同窓生の皆様が気軽に参加でき、また作新の輪が広げられるよう若い力を結集して活動してまいりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

同窓会組織 (執行役員)

会長 安藤 寛樹 (昭和45年卒)
副会長 鈴木 勲 (昭和38年卒)
// 吉高神 渡 (昭和45年卒)
// 渡辺 毅 (昭和50年卒)
// 高橋 光男 (昭和54年卒)
// 小牧 英夫 (昭和56年卒)
// 櫻井 英治 (昭和57年卒)
// 渡邊 幸雄 (平成4年卒)

事務局 長 天野 辰美 (昭和45年卒)
総務企画部 部長 安藤 篤史 (平成10年卒)
組織財政部 部長 本澤 崇 (平成2年卒)
広報部 部長 黒崎 裕康 (平成3年卒)
文化厚生部 部長 古谷 祥一 (昭和58年卒)
青年部 部長 石川 嵩文 (平成15年卒)